

お知らせ

「原発性免疫不全症に対するパリビズマブ投与」の研究にご協力いただく患者さんのご家族の方々へ

2016年6月23日

東京医科歯科大学 発生発達病態学分野 金兼 弘和

原発性免疫不全症を基礎疾患にもつ乳児にとって、RSウイルス感染症は時に致命的となります。また、T細胞機能不全を伴う原発性免疫不全症における根治療法は造血幹細胞移植ですが、移植時に呼吸器ウイルス感染症を合併している場合の成功率は合併症がない場合に比べて大幅に低下することが知られています。原発性免疫不全症の乳児を早期に診断し、パリビズマブを投与することは予後改善にとってきわめて重要であると考えています。2013年にパリビズマブが免疫不全症を伴う児に対し保険適用拡大となったことを受けて、当科では原発性免疫不全症の乳幼児に対してパリビズマブの投与を行っています。

本研究では2013年にパリビズマブがT細胞機能異常を呈する免疫不全を伴う患児に対して保険適用拡大となってから、2015年12月までに当科の外来ならびに入院でパリビズマブ投与を行った患児について、診療録（カルテ）に基づき、原疾患や合併症治療における転帰や臨床データ等の情報を抽出します。カルテ調査なので、新たな検査等はなく、過去の治療に関するデータを使わせていただくことになります。結果を検討のうえ、原発性免疫不全症の乳幼児に対するパリビズマブ投与の安全性および有効性・予後改善を評価することが本研究の目的です。

本研究は運営費で実施され、本研究を実施するにあたり特定の企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、医学部臨床研究利益相反委員会に申請を行い承認されています。

本研究への協力は任意であり協力したくない場合には申し出て下さい。また協力を断ってもいかなる不利益も生じません。

承認番号： 第M2016-061番

研究期間： 医学部倫理審査委員会承認後から平成29年3月31日

研究責任者：発生発達病態学分野 准教授 金兼 弘和

問い合わせ等の連絡先：

研究者連絡先：東京医科歯科大学医学部附属病院

発生発達病態学分野 准教授 金兼 弘和

〒113-8519 東京都文京区湯島1-5-45

03-3813-6111（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）

苦情窓口：東京医科歯科大学医学部総務掛

03-5803-5096（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）